

# 全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス〔 <https://www.zenhokyo.gr.jp> 〕

## —今号の目次—

- ◆ 令和6年度保育関係予算緊急要望活動を実施(保育三団体協議会)…………… 1

## ◆ 令和6年度保育関係予算緊急要望活動を実施(保育三団体協議会)

令和5年6月12日、本会奥村尚三会長は、保育三団体協議会において令和6年度予算要望活動を行い、全国私立保育連盟川下勝利会長、日本保育協会大谷泰夫理事長（日本保育協会においては、午後は川鍋慎一常務理事が対応）とともに、こども家庭庁および自由民主党全国保育関係議員連盟会長等を訪問しました。

今回の要望では、「こども未来戦略会議」において、「こども未来戦略方針」案がとりまとめられ、そのなかで配置基準の改善や更なる処遇改善、「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設などが明記されたことを踏まえ、「公定価格の充実」「安全・安心な保育の継続」「人口減少地域における振興対策等の実施」「保育人材の確保」などを要望しています。

また、「こども家庭庁」において、子どもの権利が確実に保障されるとともに、必要な予算の確保と保育の質の向上、処遇改善が図られるために、保育現場の声を直接聞いていただきたいこと、加えて、「こども誰でも通園制度（仮称）」等の制度化が予定される事項への現場の不安を伝え、今後改めて要望したいこと等を伝えています。

こども家庭庁のほか、有村治子参議院議員、衛藤晟一参議院議員、古賀篤衆議院議



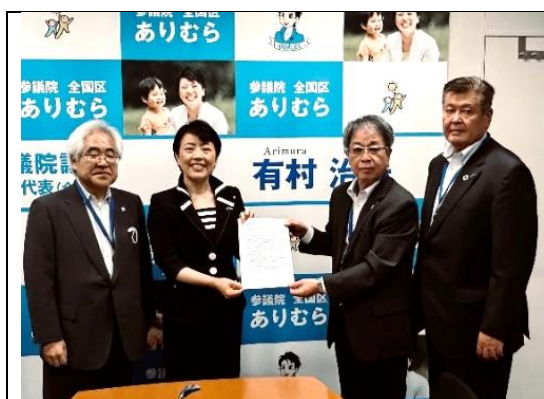
こども家庭庁 渡辺由美子 長官と保育現場の現状と課題を共有し、意見交換を実施

員、自見はなこ参議院議員、片山さつき参議院議員（当日の訪問順）には、保育三団体の長が直接説明のうえ、要望書を手交するとともに、要望内容をはじめ、保育をとりまく現状について意見交換を行いました。

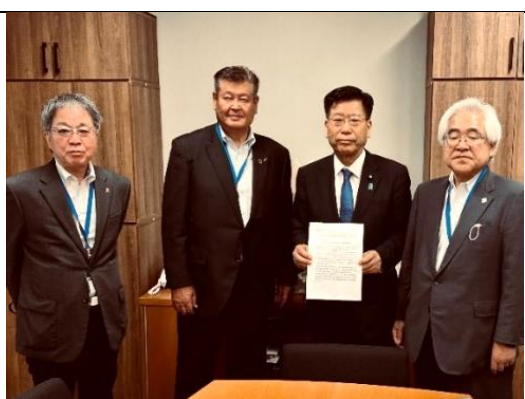
こども家庭庁では、「こども誰でも通園制度（仮称）」について、「この間、理念先行、期待先行で進んでいるが、受け入れ体制を心配しており、制度をどのように全国的に進めていくのかしっかり検討していきたい」とのことに加え、配置基準の改善について「現場が大変なことは理解しており、やれることから対応してまいりたい」との発言がありました。

また、同日には、衆議院第一議員会館、衆議院第二議員会館、参議院議員会館の自由民主党全国保育関係議員連盟所属議員を訪問し、要望活動を実施しました（約300名の保育関係議員連各議員に対する要望活動は保育三団体協議会が分担して実施）。

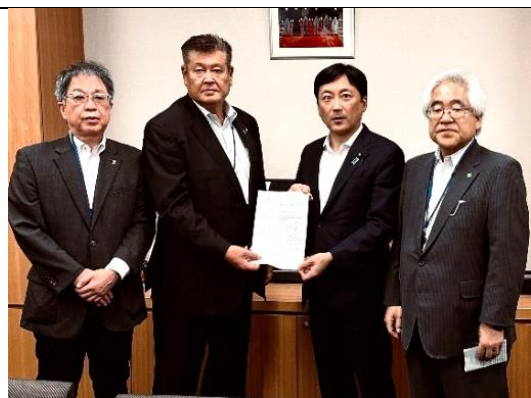
要望書については、別添PDF資料をご参照ください。



有村 治子 議員に要望書を手交



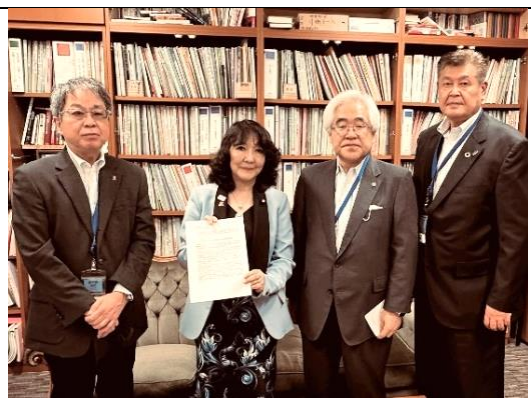
衛藤 晟一 議員に要望書を手交



古賀 篤 議員に要望書を手交



自見 はなこ 議員に要望書を手交



片山 さつき 議員に要望書を手交

（写真は当日の訪問順）